

殿

骨材試験報告書

令和 年 月

工事名：

工事場所：

試料名： 砕砂(7号砕石)

福井県吉田郡永平寺町光明寺41-4

株式会社 西村砂利工業

TEL : 0776-63-3120





試験番号： A-23-5-0012-4

受付日： 令和 5 年 4 月 17 日

試験結果報告書

(骨材試験)

[砕砂(7号砕石)]

株式会社 西村砂利工業 殿

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

令和 5 年 5 月 15 日

J N L A 登録試験事業者

株式会社 M・T技研 中央材料研究所

福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地

TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723

発行責任者 所長 小林 宏成





骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 西村砂利工業
	所在地	福井県吉田郡永平寺町光明寺41-4
申依頼事項	試料採取日	令和5年4月17日
	試料採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）
	試料採取者	宮浦 勝
試料搬入日		令和5年4月17日
試験日		令和5年4月17日 ～ 令和5年5月12日

試験体種類		産地
粗骨材	砕砂(7号砕石) 5-2.5mm	福井県勝山市坂東島山系

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	5.12
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.5
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.48
		実積率 %	56.9
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.62
		絶乾密度 g/cm ³	2.60
		吸水率 %	0.80
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	18.6
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	4.5
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.08
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		榎田 直也	

<試験実施場所> 株式会社M・T技研 中央材料研究所 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

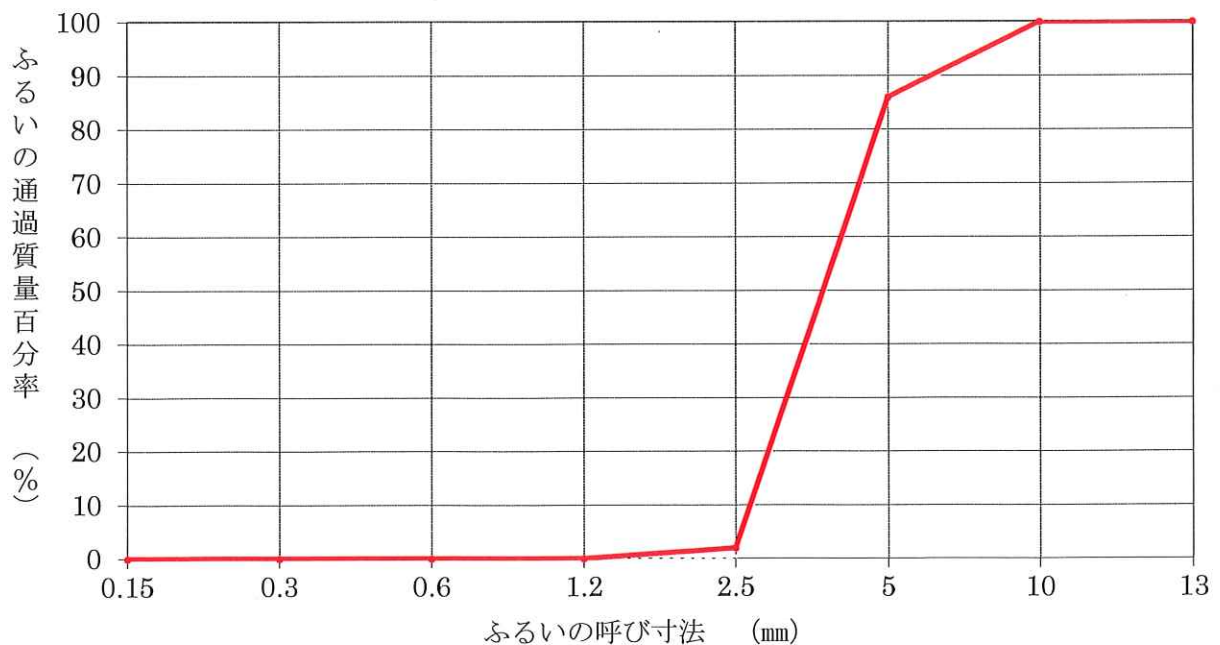
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 5 年 4 月 20 日			
試料	種類	砕砂(7号砕石) 5-2.5mm	最大寸法	—
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント（骨材堆積場）		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	1152.5	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
(13)	0.0	0	0	100
10	0.0	0	0	100
5	158.9	14	14	86
2.5	962.6	84	98	2
1.2	22.2	2	100	0
0.6	4.7	0	100	0
0.3	2.2	0	100	0
0.15	0.3	0	100	0
受け皿	0.6	0	100	0
合計	1151.5	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.09	粗粒率	5.12	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 5 年 4 月 20 日	
試 料	種 類	砕砂(7号砕石) 5-2.5mm	
	産 地	福井県勝山市坂東島山系	
	採 取 日	令和 5 年 4 月 17 日	
	採 取 場 所	砂利プラント（骨材堆積場）	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	1166.3	1191.4
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	1160.5	1185.8
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.5	0.5
2回の試験の平均値 (%)	\bar{A}	0.5	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日			令和 5 年 5 月 11 日	
試料	種類	砕砂(7号碎石) 5-2.5mm		
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント(骨材堆積場)		
試験回数			1	2
単位容積質量	容器の質量 (kg)	(1)	0.908	0.908
	容器の容積 (l)	V	2.001	2.001
	(容器+試料)の質量 (kg)	(2)	3.866	3.861
	試料の質量 = (2)-(1) (kg)	m_1	2.958	2.953
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$ (kg/l)	T	1.48	1.48
	2回の試験の平均値 (kg/l)	\bar{T}	1.48	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度 (g/cm ³)	d_D	2.60	
	実積率 = $\frac{\bar{T}}{d_D} \times 100$ (%)	G	56.9	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日			令和 5 年 4 月 28 日	
試料	種類	砕砂(7号砕石) 5-2.5mm		
	産地	福井県勝山市坂東島山系		
	採取日	令和 5 年 4 月 17 日		
	採取場所	砂利プラント(骨材堆積場)		
試験回数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	1165.5	1172.7
	試料とかごの水の中の見掛けの質量 (g)	m_2	925.7	930.2
	金網かごの水の中質量 (g)	m_3	204.7	204.7
	試験温度における水の密度 (g/cm^3)	ρ_w	試験水の温度 20 °C	
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm^3)	D_s	2.62	2.62
	2回の試験の平均値 (g/cm^3)	\bar{D}_s	2.62	
平均値からの差 (規格値:0.01 g/cm^3 以下)			0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	1156.2	1163.5
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm^3)	D_d	2.60	2.60
	2回の試験の平均値 (g/cm^3)	\bar{D}_d	2.60	
	平均値からの差 (規格値:0.01 g/cm^3 以下)			0.00
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	0.80	0.79
	2回の試験の平均値 (%)	\bar{Q}	0.80	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm^3)	温度 (°C)	密度 (g/cm^3)	温度 (°C)	密度 (g/cm^3)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 榎田 直也

試験日				令和 5 年 4 月 28 日			
試料		種類		砕砂(7号砕石) 5-2.5mm			
		産地		福井県勝山市坂東島山系			
		採取日		令和 5 年 4 月 17 日			
		採取場所		砂利プラント (骨材堆積場)			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の各群の質量 (g)
通るふるい	とどまるふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	質量百分率 (%)	A~G	6~12	500または1000	m ₁
2.5	—	30.0	3				
5	2.5	962.6	83				5000
10	5	158.9	14				
15	10	0.0	0				
20	15	—	—				
25	20	—	—				
40	25	—	—				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合計		1151.5	100	D	6	500	5000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m ₂			4072	
すりへり損失質量		m ₁ - m ₂	(g)			928	
すりへり減量		$\frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$				18.6	(%)

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日		令和 5 年 5 月 12 日					
試 料	種 類		砕砂(7号碎石) 5-2.5mm				
	産 地		福井県勝山市坂東島山系				
	採 取 日		令和 5 年 4 月 17 日				
	採 取 場 所		砂利プラント（骨材堆積場）				
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量 (g)	試験後の 各群の質量 (g)	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$ (%)	骨材の損失 質量分率 $\frac{\textcircled{1} \times P_1}{100}$ (%)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
(mm)	(mm)	質量 (g)	①質量分率 (%)	m_1	m_2	P_1	(%)
10	5	158.9	100	308	294	4.5	4.5
15	10	0.0	0	—	—	—	—
20	15	—	—	—	—	—	—
25	20	—	—	—	—	—	—
40	25	—	—	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		158.9	100	—	—	—	4.5

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 : JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者 : 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 5 年 4 月 28 日	
試 料	種 類	砕砂(7号砕石) 5-2.5mm	
	産 地	福井県勝山市坂東島山系	
	採 取 日	令和 5 年 4 月 17 日	
	採 取 場 所	砂利プラント (骨材堆積場)	
試験前の試料の乾燥質量	(g)	m_{D1}	1211
試験後の試料の乾燥質量	(g)	m_{D2}	1210
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$	(%)	C	0.08

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

